JSP ニュース

2019年4月1日～2019年9月30日

2019年 冬

No.87

証券コード：7942

社長メッセージ

Message from the President

代表取締役社長　**酒井　幸男**

JSPニュース　No.87　Contents

社長メッセージ …… 01
特集 …… 03
トピックス …… 05
新製品情報 …… 06
連結財務ハイライト …… 07
連結セグメント情報 …… 08
要約連結財務諸表 …… 09
JSPカレンダー …… 11
株主優待制度／配当実績 …… 12
会社情報 …… 13
表紙の写真 …… 14

1　はじめに

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年も災害の多い年でした。台風は何度も上陸し、15号、そして非常に大きな19号、その後は集中豪雨と何十年に一度と言うような災害が立て続けに発生しています。各地に甚大な被害をもたらし、復旧に時間がかかっています。被害に遭われた方々へは、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

2　上期の振り返り

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、良好な雇用・個人消費などにより堅調に推移しましたが、製造業においては、米中貿易摩擦や世界景気減速懸念により生産や設備投資は弱い動きとなりました。欧州では、雇用環境の改善が継続しておりますが、輸出の弱含みなどにより減速傾向となりました。アジアでは、米中貿易摩擦の影響などから経済成長は鈍化しました。日本経済は、雇用環境改善による個人消費の持ち直しの継続などにより緩やかに回復しましたが、外需減速などの影響を受け停滞感の強い状況となりました。

国内発泡プラスチック業界におきましては、食品・水産分野などでの需要低迷や運送コスト上昇の影響などにより厳しい状況となりました。

当社グループの経営成績は、売上高は、一部分野の需要低迷などにより前年同期を下回りました。営業利益は、運送費の上昇に対する製品価格改定があったものの、需要低迷の影響や新規需要へ向けた生産体制構築に伴う固定費増加などにより前年同期を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、56,308百万円（前年同期比2.0％減）となりました。営業利益は2,474百万円（同11.7％減）、経常利益は2,474百万円（同17.5％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,917百万円（同18.4％減）となりました。

3　下期に向けて

2020年3月期通期の販売状況につきましては、国内事業においては、当社の成長エンジンのひとつである発泡ポリスチレン押出ボード「ミラフォーム」は、住宅の高断熱化のニーズの高まりを背景として、販売数量は前期を上回る見込みです。また、海外事業では、発泡ポリプロピレン「ピーブロック」については、自動車部品や包装材などへの採用の拡大により販売数量は前期を上回ると予測しております。一方で、米中貿易摩擦を背景として世界経済は減速基調にある中で、自動車販売台数は前年を下回る可能性が高まっていること、米国において9月半ばより始まったゼネラルモーターズ（GM）の工場労働者によるストライキの影響により需要減が見込まれていること、また国内においては発泡ポリスチレンシート「スチレンペーパー」や発泡性ポリスチレン「スチロダイア」の需要減が見込まれており、全体的な販売数量は前回発表（2019年7月30日）の前提となる計画値を下回る見込みであり、売上高は4.8％減となる見込みです。原油価格は引き続き底堅い推移が見込まれております。また、北米では昨年ポリプロピレン価格は高値圏で推移しておりましたが、今年は需給が軟化したことから他地域と同水準の価格で推移すると予測しております。営業利益においては、北米・欧州における「ピーブロック」の販売数量が計画値に満たないこと、また国内においては主に「スチレンペーパー」や「スチロダイア」の販売数量が計画値に満たないことにより、前回発表の連結業績予想を下回る見込みとなり、以下のとおり修正しました。売上高は、113,700百万円、営業利益は、5,300百万円、経常利益は、5,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、4,200百万円と予想しています。

4　株主・投資家の皆様へ

米中貿易問題や中東の地政学的リスクなど世界経済は更に不透明感を増していますが、我々は、なすべき諸施策を確実に実行し、ラグビーワールドカップ日本チームの「ONE TEAM」のように、目標達成に全社一丸で取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

酒井幸男

JSPは、国内として北は北海道から南は九州まで工場を有し全国のお客様に製品を日々生産を行っています。今号では、この2工場をご紹介致します。

九州工場

ミラフォーム

ミラネット

Information

- 設　　立：1977年
- 生産品目：ミラフォーム　ミラマット　ミラネット 他
- 敷地面積：32,000㎡

九州工場は押出事業の製品（断熱材、農業資材、産業資材）の生産を行う40年以上の歴史がある工場です。

JSP九州工場は1977年に設立されました。工場がある熊本市植木町は九州地区の中心部に位置する好立地でスイカやメロンなどの農業が盛んであることから農業資材の製造を目的として設立されました。当初はミラマット、ミラネットなどの農業資材が中心でしたが、現在では、産業資材や畳の芯材、住宅用断熱材のミラフォームなど生産品目も徐々に拡大し、第一事業本部の重要拠点の1つとして生産を続けております。

生産、加工の際に出た廃材は、工場内でリサイクルしており、環境面への配慮にも取り組んでおります。

また、熊本市と「災害時における井戸水の提供に関する協定」を結び、地域の災害対策にも貢献しております。

九州工場はお客様のニーズに迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えております。今後も生産性の向上、生産合理化、品質管理などに取り組み、安定・安全な製造で高品質な製品をお届けしてまいります。

お届けしています。九州地区には、押出事業の九州工場とビーズ事業の北九州工場があり

北九州工場

北九州工場は発泡ポリプロピレン(ピーブロック)の生産を行う国内で最も新しい工場です。

ピーブロックは、自動車の各種内装材に数多く採用されています。JSPは、国内自動車の生産が九州地区に集中していることからその需要に対応すべく、2014年に福岡県北九州市に建設しました。鹿沼市(栃木県)、四日市(三重県)とピーブロック3拠点目の工場となります。隣接する成型委託先へパイプラインでビーズを供給する構造等、効率性を重視し、製品を出荷しております。

北九州工場は最新の設備を導入し、自動化の進んだ生産を実現しております。また、新たな取り組みとして、工場から出る排水のリサイクルを開始致しました。全世界の工場に最新の自動化技術や取り組みを発信、JSPの発展に貢献しております。

今後も北九州工場からグローバルのEPP工場に様々な施策が展開できるよう、取り組んでまいります。

ビーズを供給するパイプライン

排水リサイクル設備

Information

- 設　　立：2014年
- 生産品目：ピーブロック　ビーズ 他
- 敷地面積：11,630㎡

関西工場

兵庫県たつの市と防災協定を締結

当社は、10月30日に、兵庫県たつの市と関西工場新工場につきまして防災協定を締結致しました。

これは大規模災害時にたつの市からの要請に基づき、住民が指定避難場所に避難できなくなった場合などに一部施設を一時的に避難場所として利用することを可能とすることと、避難所での生活環境の向上をはかるために同工場で製造している断熱材を床敷用として、また食品容器を炊き出しや飲食用として供給する協定です。

同工場は2019年1月に竣工し、稼働を開始していますが、工場建設の計画段階から地域のセーフティネットとして災害時に地域の皆さまにご利用頂くための設計をしています。

施設内には多目的トイレやおむつ交換台、一般家庭約60軒分を3日程度まかなえる非常用発電機等を備えています。

JSPは製品の生産だけでなく地域社会など幅広いステークホルダーとの交流を重視し、地域の災害対策にも貢献できる施設運用を目指してまいります。

多目的トイレ・おむつ交換台

非常用発電機

新製品情報

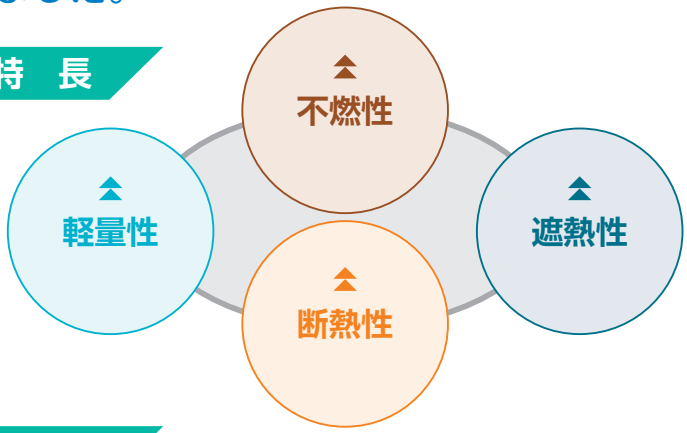
建築構造物向け軽量・不燃ボード

スチロセメン

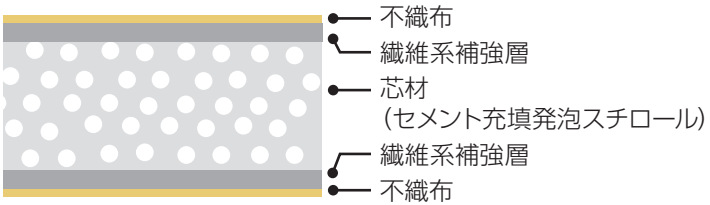
当社は不燃性・遮熱性・断熱性を併せ持ち、軽量化を実現させた木造多層建築や他の構造物等でも使用可能な軽量・不燃ボードを開発し、2019年10月24日に発表しました。

近年、大規模火災による被害の拡大や木質系構造部材を用いた多層建築の登場、また、建築基準法の規制緩和による防火地域内の木造住宅の増加など、建築市場を取り巻く環境は変化しつつあります。JSPはこうした市場環境の変化を受け、従来にない新しい技術で建物の不燃化を実現するとともに、建物自身の軽量化によって期待される、耐震性の向上、構造物構築の省力化、工期短縮、コストダウン等を可能とし、さらに断熱性の付与による建物の省エネルギー化にも貢献します。

特　長



構　成

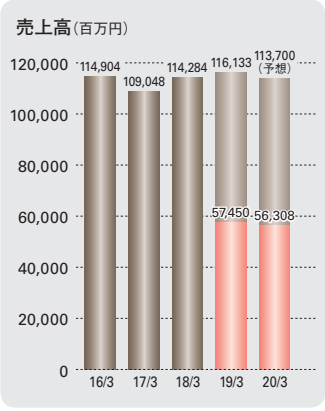


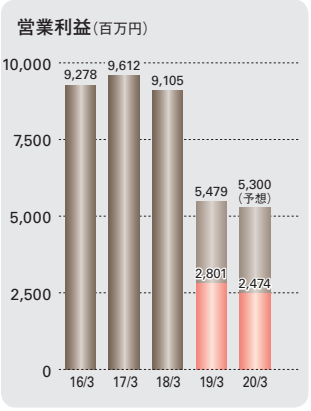
＜問合せ窓口＞　㈱JSP　新事業開発本部　事業開発部　TEL：03-6212-6386

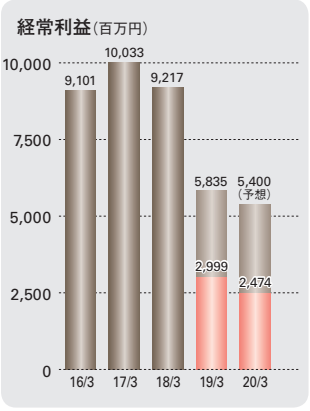
連結財務ハイライト

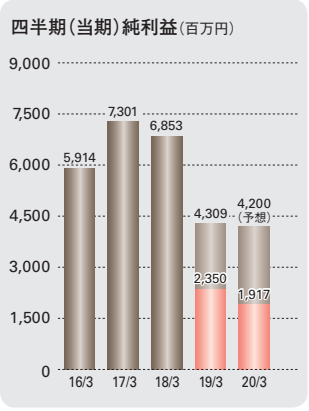
Consolidated Financial Highlights

（単位：百万円）	2016/3	2017/3	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9
売上高	114,904	109,048	114,284	57,450	116,133	56,308
営業利益	9,278	9,612	9,105	2,801	5,479	2,474
経常利益	9,101	10,033	9,217	2,999	5,835	2,474
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	5,914	7,301	6,853	2,350	4,309	1,917
純資産	72,497	76,778	84,105	83,554	84,141	83,944
総資産	115,136	113,151	125,270	126,455	129,229	127,738
（単位：%）						
売上高営業利益率	8.1	8.8	8.0	4.9	4.7	4.4
売上高経常利益率	7.9	9.2	8.1	5.2	5.0	4.4
売上高四半期（当期）純利益率	5.1	6.7	6.0	4.1	3.7	3.4
（単位：円）						
1株当たり四半期（当期）純利益	198.40	244.94	229.91	78.86	144.57	64.32
1株当たり純資産	2,277.32	2,433.10	2,667.72	2,663.49	2,691.76	2,694.20
（単位：百万円）						
設備投資	6,341	6,236	8,153	5,717	10,896	6,482
減価償却費	4,903	4,952	5,072	2,715	5,601	3,136









第2四半期累計　通期

連結セグメント情報

Consolidated Segment Information

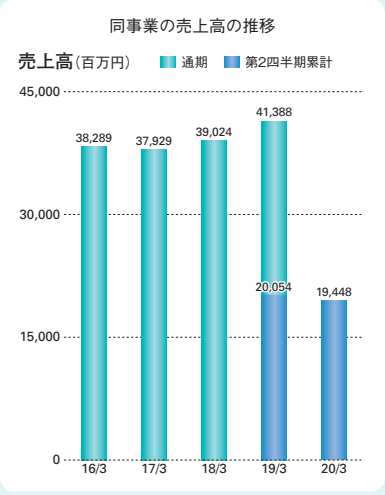
押出事業

押出事業全体としては、付加価値の高い製品の販売は増加したものの、食品トレー分野や広告宣伝用ディスプレイ材、産業用包装材のうち汎用製品での販売減少により売上は減少しました。利益面では、販売減少の他に付加価値の高い製品の生産体制構築に伴う固定費増加などもあり減益となりました。

ポリスチレンペーパー
（食品容器）

ミラフォーム
（断熱材）

ミラフォームラムダ（断熱材）



ビーズ事業

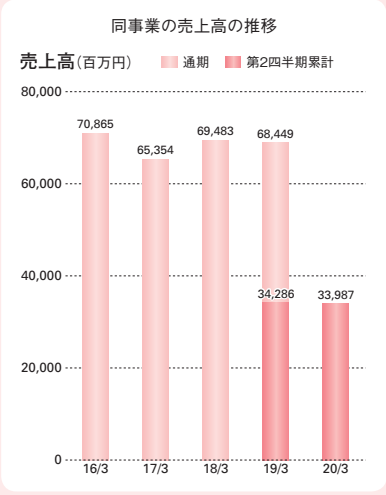
「ピーブロック」は、自動車の新規部品の採用拡大や種々の用途拡大により販売数量は増加しましたが、製品の価格改定などの影響により売上は減少しました。「スチロダイア」は水産・農業分野での需要減少などにより売上は減少しました。利益面では新規需要へ向けた生産体制構築に伴う固定費増加などもあり減益となりました。

スチロダイア
（魚箱・野菜箱）

スーパーブロー
（ユニットバス天井材）

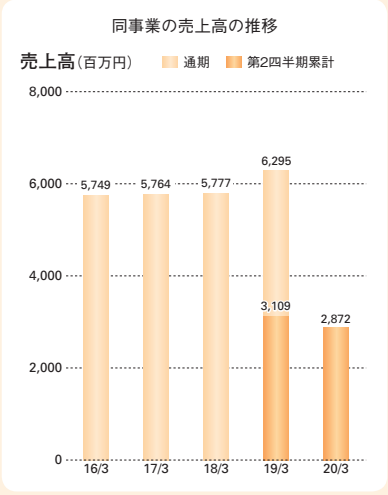
ピーブロック
（緩衝材）

ピーブロック（自動車部材）

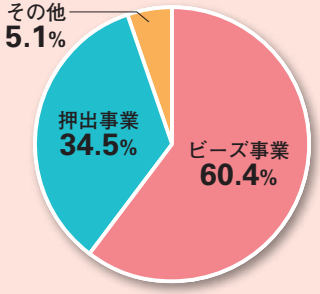


その他

一般包材は、国内では自動車部品輸送関連等の販売が減少したことから売上は減少しました。中国では、各種部品関連の需要獲得により売上は増加しました。



事業別売上高構成比



要約連結財務諸表

Summary of Consolidated Financial Statements

要約四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

（資産の部）	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在	前期末比増減額
流動資産	61,190	66,830	△ 5,639
現金及び預金	12,610	14,842	△ 2,232
受取手形及び売掛金	29,066	30,630	△ 1,564
有価証券	89	23	66
商品及び製品	7,441	7,611	△ 170
仕掛品	1,117	1,198	△ 81
原材料及び貯蔵品	4,869	5,611	△ 742
その他	6,068	6,984	△ 915
貸倒引当金	△ 72	△ 72	0
固定資産	66,547	62,399	4,147
有形固定資産	60,486	56,284	4,201
建物及び構築物	19,346	19,785	△ 439
機械装置及び運搬具	18,488	16,810	1,678
土地	14,650	14,639	11
その他	8,000	5,049	2,951
無形固定資産	1,501	1,729	△ 227
投資その他の資産	4,559	4,385	173
投資有価証券	1,527	1,431	95
その他	3,426	3,358	67
貸倒引当金	△ 393	△ 404	11
資産合計	127,738	129,229	△ 1,491

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（負債の部）	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在	前期末比増減額
流動負債	32,091	34,344	△ 2,253
支払手形及び買掛金	8,650	11,183	△ 2,532
短期借入金	8,516	7,497	1,018
1年内返済予定の長期借入金	3,717	3,921	△ 204
その他	11,206	11,741	△ 534
固定負債	11,702	10,744	958
長期借入金	8,390	7,969	420
退職給付に係る負債	600	568	32
その他	2,711	2,205	505
負債合計	43,793	45,088	△ 1,294
（純資産の部）			
株主資本	82,725	81,553	1,171
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,441	13,441	—
利益剰余金	60,542	59,370	1,172
自己株式	△ 1,387	△ 1,386	△ 0
その他の包括利益累計額	△ 2,413	△ 1,313	△ 1,099
非支配株主持分	3,632	3,901	△ 269
純資産合計	83,944	84,141	△ 197
負債純資産合計	127,738	129,229	△ 1,491

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

要約四半期連結損益計算書（累計）

（単位：百万円）

	当第2四半期 2019年４月１日から 2019年９月30日まで	前第2四半期 2018年４月１日から 2018年９月30日まで	前年同期比 増　減　額
売上高	56,308	57,450	△ 1,142
売上原価	41,439	41,965	△ 526
売上総利益	14,869	15,484	△ 615
販売費及び一般管理費	12,394	12,683	△ 288
営業利益	2,474	2,801	△ 327
営業外収益	242	333	△ 90
営業外費用	242	135	106
経常利益	2,474	2,999	△ 524
特別利益	10	12	△ 2
特別損失	19	35	△ 15
税金等調整前四半期純利益	2,464	2,976	△ 511
法人税等	586	695	△ 108
四半期純利益	1,878	2,281	△ 402
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△ 38	△ 69	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,917	2,350	△ 433

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

要約四半期連結キャッシュ・フローの状況（累計）

（単位：百万円）

	当第2四半期 2019年４月１日から 2019年９月30日まで	前第2四半期 2018年４月１日から 2018年９月30日まで	前年同期比 増　減　額
営業活動による キャッシュ・フロー	4,520	3,286	1,234
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 6,599	△ 5,297	△ 1,301
財務活動による キャッシュ・フロー	287	943	△ 656
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,065	9,358	△ 2,293

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2019

July 7

QCサークル活動「QCサークル感動賞」「体験事例優秀賞」

7月11日～12日に行われた日本科学技術連盟主催のQCサークル全国大会に当社鹿沼第二工場のホワイトキャリーサークルが参加し、「QCサークル感動賞」を受賞、「体験事例優秀賞」に推薦されました。

「2020年3月期　第1四半期決算短信」発表

7月30日、東京証券取引所にて2020年3月期第1四半期決算を報告し、対外発表致しました。

August 8

「Annual Review2019」※発行

おもに海外の投資家、取引先様に向けて2019年3月期の決算の財務諸表などを掲載した「Annual Review2019」（英語版）を発行致しました。

October 10

「RC報告書2019」※発行

2018年度に当社が取り組んだ環境と安全に関する活動の報告書を発行致しました。

「軽量・不燃ボードスチロセメン」の開発を発表

10月24日、「建築構造物向けスチロセメンを開発」を発表致しました。

「2020年3月期　第2四半期決算短信」発表

10月29日、東京証券取引所にて2020年3月期第2四半期決算を報告し、対外発表致しました。

関西工場 兵庫県たつの市と防災協定締結

10月30日、兵庫県たつの市と関西工場新工場は、災害時における避難場所と物資の供給等についての防災協定を締結致しました。

November 11

決算説明会開催

11月14日、JPタワーホール＆カンファレンスにおいて、アナリスト・ファンドマネージャーに対し、2020年3月期第2四半期決算の説明会を開催致しました。

※「Annual Review」及び「RC報告書」はホームページへ掲載しております。
ホームページURL：https://www.co-jsp.co.jp/

今後の予定
2020年1月下旬　2020年3月期第3四半期決算　発表予定

株主優待制度

〈デザイン見本〉

■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された1単元（100株）以上を保有されている株主様

■優待の内容

一律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルクオカード（株主様は3,000円全額ご使用いただけます）

■贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定

■社会貢献寄附金「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、（公社）国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

配　当　実　績

■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

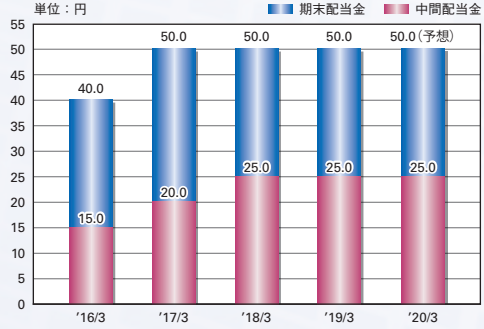
内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投資や新規事業展開のための設備投資に充当してまいります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役会決議により行うことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役会決議による配当を基本的な方針としております。

■当期配当金

2020年3月期第2四半期の1株当たりの配当金は25円とさせて頂きます。期末配当金は1株当たり25円（通期配当金額50円）とさせて頂く予定です。

■配当実績



会社概要

商号	株式会社JSP
所在地	本社　東京都千代田区丸の内三丁目4番2号
事業内容	発泡プラスチック、 その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、 土木・建築工事の設計・請負および管理
設立	1962年（昭和37年）1月
資本金	10,128百万円
決算期	3月
従業員数	789名（出向者除く） 連結3,167名（国内：1,395名、海外：1,772名）
事業所他	5営業所、1出張所、11工場、2研究所
主要関係会社	国内9社、海外28社

大株主

株主名	株数（千株）
三菱瓦斯化学株式会社	16,020
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,504
JSP取引先持株会	1,112
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	959
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	890
JP MORGAN CHASE BANK 385166	400
GOVERNMENT OF NORWAY	323
JSP従業員持株会	290
日本生命保険相互会社	244
NORTHEN TRUST CO.(AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	214

当社は自己株式1,604千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

株主メモ

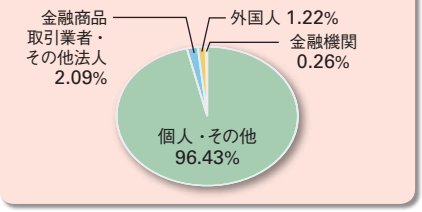
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

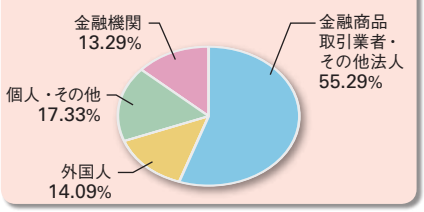
株式の状況

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	31,413,473株
株主総数	11,179名

● 株主数別分布状況 ●



● 株式数別分布状況 ●



1月6日まで続く スペインのクリスマス

スペイン　マラガ

撮影・文
菅原 千代志（フリー写真家、㈳日本写真家協会会友）

1970年代初頭から各国を旅し、民族文化をテーマに北米、イベリア半島を中心に多くの海外取材を手掛け、新聞・雑誌などに写真とエッセイを発表。『アーミッシュ／もうひとつのアメリカ』ほかの著書がある。

イルミネーションを楽しみながらの散策

子どもたちがサンタクロースのプレゼントを楽しみにするクリスマスですが、スペインのクリスマスは趣が違います。11月の中頃から街の目抜き通りや広場は華やかなイルミネーションなどで飾られ、夕暮れとともにウインドウショッピングを兼ねた散歩をする人たちが多くなります。そしてクリスマスのシーズンは年明け1月6日まで続くのです。欠かせないのはツリーよりも「ベレン」と呼ばれる飾りつけで、イエス誕生*1の光景を再現するジオラマです。各家庭はもちろん教会、学校などにも飾られ、デパートなどの飾りは豪華です。

クリスマスイブは「ノーチェ・ブエナ」と呼ばれ、豪華な料理を囲み家族でお祝いをし、深夜のミサに出かける人もいます。そしてハイライトは「東方三賢人の日*2」と呼ばれる1月6日です。東方から三賢人が貢物を携えベツレヘムを訪れ、イエスの誕生を祝ったことに因む伝統行事で、クリスマス・プレゼントを運んでくるのは三賢人だと信じられているのです。1月5日の夕方、ラクダに乗った三賢人が街にやって来て豪華な山車を連ねキャンディを撒きながらパレードをします。子どもたちはプレゼントを入れてもらうため、バルコニーなどに靴を置いて寝ます。祝日となる翌6日に子どもたちはプレゼントを確認し、遅い朝食やロスコン*3と呼ばれる菓子パンのおやつを食べ、クリスマス・シーズンは終わるのです。

※1　**イエス誕生**
新約聖書には「イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった」とあり、婚約中のヨセフとマリアは住民登録のためナザレからベツレヘムに向かい、そこで赤子を産むが宿は無く馬小屋に泊まり飼い葉桶に寝かせた。夜通し羊の番をしていた羊飼いたちは天使の知らせで幼子を探し、人々にメシアの誕生を知らせる。幼子は生後8日目にイエスと名づけられた。

※2　**東方三賢人の日（Día de los Reyes Magos）**
星をみてメシア（救世主＝ギリシャ語でキリスト）の誕生を知った東方の占星術の学者たちは星に導かれイエスを訪ね礼拝し、贈り物として乳香、没薬、黄金を捧げた。これを記念した祝日で主顕節または公現祭ともいい、学者たちは東方の三賢人や三博士とも呼ばれる。

※3　**ロスコン**
主顕節に欠かせないロスコンは、色とりどりの小さなドライフルーツで飾られたドーナツ型の菓子パンで、中には小さい人形が隠されていて、それがあたった人には幸運がもたらされる一方、みんなにご馳走しなくてはならないとも言われている。他にもクリスマスにはアーモンドをベースにしたトゥロンや、マサパンなど古くから伝わる甘いお菓子が食べられる。

Network

本社・事業所一覧

本　社			☎
	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）	03-6212-6300
営業所			
札幌	〒060-0003	札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル）	011-231-2681
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-4-1（読売仙台一番町ビル）	022-262-3271
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル）	052-962-3225
大阪	〒541-0053	大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル）	06-6264-7900
福岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-12-17（五幸ビル）	092-411-6854
出張所			
広島	〒732-0052	広島市東区光町1-12-20（もみじ広島光町ビル）	082-568-0566
工　場			
北海道	〒067-0051	北海道江別市工栄町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町5	0289-76-3271
鹿沼第三	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-2	0289-76-5905
鹿沼ミラフォーム	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	(FAX) 0289-76-3227
事務管理センター	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	0289-76-2121
再資源センター	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂呂638	0289-76-6606
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市東深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市市北小松町字扇廣1600	059-328-2563
関西	〒679-4304	兵庫県たつの市新宮町下笹515	0791-77-0213
北九州	〒800-0229	福岡県北九州市小倉南区曽根北町2937-7	093-474-7211
九州	〒861-0111	熊本県熊本市北区植木町宮原553	096-274-7101
研究所			
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1245

海　外

北　米

JSP International, LLC.（アメリカ）
JSP International de Mexico, S.A. de C.V.（メキシコ）

南　米

JSP Brasil Indústria De Plásticos Ltda.（ブラジル）

欧　州

JSP International SARL（フランス）
JSP International s.r.o.（チェコ）
JSP International o.o.o.（ロシア）

アジア

JSP Foam Products, PTE. Ltd.（シンガポール）
Taiwan JSP Chemical Co., Ltd.（台湾）
KOSPA Corporation（韓国）
JSP Plastics (Wuxi) Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Shanghai) Co., Ltd.（中国）
Kunshan JSP Seihoku Packaging Material Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Dongguan) Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Wuhan) Co., Ltd.（中国）
JSP Foam India Pvt. Ltd.（インド）
JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd.（タイ）

JSP

発行　株式会社 JSP
東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル
広報IR室　TEL.03-6212-6306　FAX.03-6212-6302
ホームページ　www.co-jsp.co.jp

ノンVOCインキ Ver.2

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています